

# ひまわり通信

SSKS  
No.86



## 平成二十九年年度連協施設見学会

理事長 隅 一 清

平成二十九年年度世田谷区障害者福祉団体連絡協議会(連協)の施設見学会は九月三日・四日いわき市の社会福祉法人いわき福音協会の訪問でした。

常磐道の守谷SAで休憩をしてから、昼食場所のあぶくま洞に向かいました。

昼食後は、あぶくま洞を見学する人もいましたが、洞内は階段だらけで、高齢者や障害者にはとても入れません。

宿泊先は、昨年と同じ「かんぽの宿いわき」でした。夜の宴会は、自立の家の代表宮坂氏の乾杯で幕を開けました。アトラクションは今年も響貴永幸さんですが、彼は今年メジャーデビューして、芸名も岩桐永幸になりました。

一年ぶりの再会で参加者達も大喜びでした。一夜明けて今日が今回の旅の目的の施設訪問なので、九時に宿を出発しました。

社会福祉法人いわき福音協会は海岸から遠く離れ、山の上にある施設で、光の家とか野の花ホームとかカナン村等、山の上全体に七ヶ所の施設が点在していました。生活支援部門、相談支援、日中活動支援、障害者福

祉部門等、数々の部門に分かれていたので、三班に分かれて、施設内を見学しました。

今年も連協では、福島の被災地を訪ねて施設に直接見舞金を手渡すというので、早くから準備していましたが、連協の杉田会長が突然、倒れて入院してしまいました。

訪問先やスケジュールなどは、障害施策推進課管理係の山口さんに準備して頂いたので、予定通り九月三日(日)四日(月)で、行く事になり、会長の補佐役?の私が引率責任者として行くことになりました。

総勢四十二名の会員を乗せて、世田谷を出発しました。山の上なので、震災の被害はほとんど無かったとの事です。



見学を終えて小名浜港にある、「ららミュージー」で昼食と海産物の買い物を楽しみました。今回も天候に恵まれ、たけのこ観光の名ドライバー伊集院さんやガイドの熊田さんの豊富な話題で楽しい旅が出来ました。また、この施設訪問の旅にご協力頂いた、各団体の皆様方に厚く御礼申し上げます。この旅の記録写真は、十一月二十八日から始まる、ふれあいフェスタ展の連協コーナーにて展示していますので、ぜひご覧下さい。



# 地域グループ活動

監事 員見芳房

現在、一説には40歳以上の100万人が、買い物の他には外出する機会の乏しい引きこもりの状態にあると言われています。うつ状態、つまり気分がなかなかすげれずに悩んでいる高齢者も少なくありません。

こうした心の悩みは、言うまでもなく、話し相手の存在によって軽減され、日々の生活の安寧に人々との交わりの大切さが指摘される理由でもあります。

ところで、平成27年版高齢社会白書に報告されている60歳以上の男女を対象にした「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成25年)の結果は、地域グループ活動に参加している人が平成5年は42・3%、平成15年54・8%、平成25年は61・0%と増えていることを示しています。人々との交流の大切さに対する意識の高まりを表しているように思います。

この調査では地域グループ活動を「健康・スポーツ」「趣味」「地域行事」「生活環境改善」「生産・就業」「教育・文化」「安全管理」「高齢者の支援」「子育て支援」「その他」に分類しています。また、グラフに作図しましたが、活動に参加して得られた個々の効果(複数回答)の多少が男女別にそれぞれの全回答者に占める割合でまとめられています。

「新しい友人を得ることができた」「生活に充実感ができた」「健康や体力に自信がついた」が男女共に上位にあります。

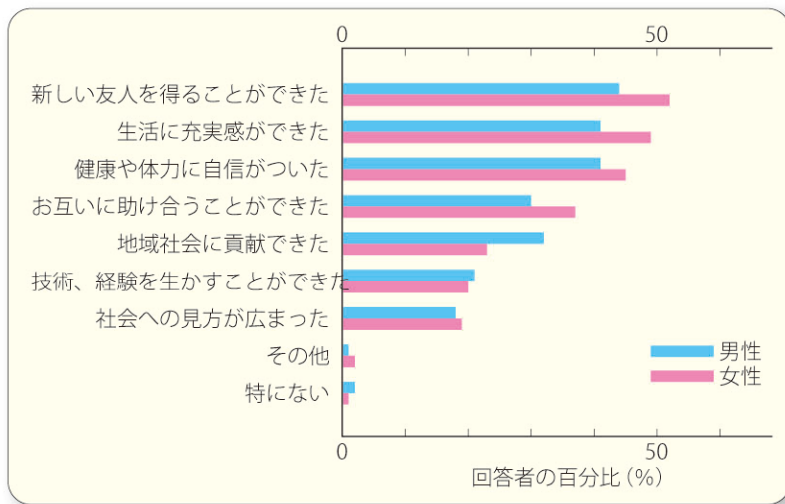
ただ、これら三つの回答の割合は女性が男性より高く、友人との交流や健康といった毎日の生活の心の潤いや安心に女性は効果を感じ

じる人が多く、一方、男性は「地域社会に貢献できた」と個人的な才覚や力量の発揮に効果を見い出す人が多く、微妙な男女差が窺えます。

話すことは聞く人がいて成り立つ行為です。たとえ「こんにちは」だけの挨拶でも私たちは人とのつながりを感じます。

男性の30・0%、女性の37・2%が「お互いに助け合うことができた」と回答しています。つながりを感じる機会の積み重ねが互助共助の精神を育んだと思います。

悩みを軽減するには一人の選択肢は限られています。他の人と話せば選択肢は増えます。思い切つて交流の扉を叩いてみましょう。



## ひまわり句会

菅野孝夫 選

ガラス張り、ベットサロンや秋の雨  
大谷のり子

子規庵の秋の草花秋の蝶  
秋澄むや王子稲荷のご神鈴  
文化の日三倍速して見るテレビ

小田原郁代

子の家に古利根渡る秋日和  
梨剥けば手よりこぼれて甘露水  
雨あがる銀杏落葉を行く二人  
秋に入るまづはめでたき誕生日

亀井歌子

農大の大根踊り天高し  
鶏豆ほつくり煮えて秋深む  
冬落暉モンサンミッシェル海に浮く  
冬天や天使ミカエル手に剣

小松原錦子

不覚にも熱中症を軽く見て  
ひとまはり顔小さくなる秋の暮  
新豆腐ありてこと足る痛み上がり  
石落に少し触れたる杖の先

宮沢みどり

運動会母の巻き鮎玉子焼  
ひんやりと花瓶の肌や今朝の秋  
背の伸びる音や良夜のストレッチ  
穂紫飛ぶパン屋のドアの棧の上



# 行事報告

## ◎市原ぞうの国とドイツ村の旅

九月十日(日)

好天に恵まれて、野沢を出発、途中「海ホタル」で休憩しました。今はぞうの国のそばまで高速道路が出来たので、アット言う間に到着し、十一時からのぞうのショーを見ました。

別の車で来た徳世夫妻も合流して、最後まで楽しんで、またバスに乗ってドイツ村へ向かいました。ぞうの国のレストランは裏山で坂道を上って行くので、高齢者や車イスの人には無理なので…。

ドイツ村の昼食はバーベキューです。豚肉やソーセージ、野菜などがセットになっています。昼食後は観覧車に乗ったり、散策したりしてゆつくりしました。

帰路は東関道から湾岸道路に出て、幕張SAで徳世夫妻とお別れして野沢に帰りました。

参加者 二十三名



## ◎秋の研修旅行

### 新潟津南から小布施の旅

十月二十八日(土) 二十九日(日)

ニューグリーンピア津南は会前で前に利用しているのですが、連協の役員会に営業が来て、またぜひ利用してほしい…との事でした。八月の下見の時は平日なので、一万二千円位で、チャリティー協会の割引があるので安くなりますが、本番は土、日なので一万五千円で、バイキングでなく懐石料理にしたら、一千円アップして、バス代を入れたら一人三万円近くなってしまう。キャンセルして、他を探したのですが、秋のシーズンなので、何処も駄目で、結局、津南と再交渉して値引きさせました。

関越道を湯沢まで行き、前に行った大源太グランドキャニオンのイタメシ屋で昼食をして津南に向かいました。

季節はずれの台風が来るとかで、紅葉も霧がかかってしまいました。

翌日は朝から大雨でしたが、絵手紙会館に向かい、絵手紙を見ました。

再び雨の中を小布施に向い、念願の栗ごはんを頂きました。雨にもかかわらず大勢の人で混雑していました。

ワイパーを最速にして信越道、関越道を無事帰って来ました。

参加者 十四名



## 一緒に楽しむ方募集中です!

### ◎ひまわりの集い

●書道教室 毎月第一、第三金曜日

●俳句に親しむ会 毎月第二金曜日

●絵手紙の会 毎月第三水曜日

参加される方を募っています。道具は何もありません。手ぶらでお気軽にお出かけ下さい。

終わった後のお茶会も楽しいです!

◎会費 一回 三百円(お茶菓子代)

◎時間 十三時三十分～十五時三十分

◎送迎 希望の方は別途一千円かかります

◎会場 下馬ポランティアセンター

\*三軒茶屋駅から徒歩十分

※お申し込みは事務所まで

電話 〇三―三四八七―五〇八一

### ◎旅行のお好きな方ご協力下さい!

当会では毎月「花を訪ねての旅」を企画しています。参加者の皆さまに無理なく、参加して頂き、楽しんで頂くために、必ず下見をして、行程、見学先、食事会場等を調べています。

基本的には下見は平日です。車で行くので免許があれば最高です!

下見には必ず障害者も一緒に行きますので、介助も必要です…。

三度のメシより、旅が好きの方、男、女を問いません! お気軽にお手伝い下さい!

年齢的には四十代～六十代がベストです。

電話 〇三―三四八七―五〇八一



# 行事予定

## 新春一月新年会

恒例の新年会は、例年の如く、事務所の前にある中華レストラン「華空間」で開催します。

美味しい料理と、美味しいお酒が、皆様のお出でをお待ちしておりますので、皆様、お誘い合わせの上、ぜひご出席下さい。今回は、地元童雲寺の獅子舞を招いていますので、平成三十年も元気に楽しく過ごせるように、頭を獅子に嘯んでもらって下さい！

特別ゲストに出演も交渉中ですので、お楽しみに。

- ◎日時 一月十三日(土) 十二時～十五時
- ◎会費 五千五百円(食事・飲み物代共)
- ◎送迎 希望者は送迎します。費用は無料です。

※参加ご希望の方は十二月二十日迄に事務所に  
お申込み下さい。  
※尚移送ドライバーには、移送をお願いします  
ので、ご協力の程、お願い致します。



※昨年の新年会風景です。

河津桜



蠟梅

## 二月の花を訪ねての旅

二月の日帰りバスハイクと云えば伊豆川木崎の水仙とか、房総の菜の花とかが定番ですが。何度も行っているのに、今回は松井田にある「ろうばいの郷」に行こうと計画しています。

ろうばいの花は透明感があるので蠟細工の様だと云うので「ろうばい」と云う説もあります。

- ◎日時 二月十八日(日) 九時出発
- ◎行程 野沢～関越道～上信越道～松井田  
田妙義IC～ろうばいの郷見学  
昼食(場所未定)

◎会費 一人 五千円(個別移送料ナシ)  
※参加ご希望の方は一月二十日迄にお申込み下さい。

今度も世田谷区提供のバスで参ります。  
※二月なので、天候、積雪などの状態により行く先を変更する場合があります。  
十日位前には、参加者にご連絡します。  
変更の場合は、河津桜を見に行く予定です。

## 編集後記

なんだかんだと云っている内に、この通信が皆様の手元に届く頃は、今年もあと一か月になります。私は、いつも三か月先のスケジュールを見て、仕事をしていますので、事務所のカレンダーは二月迄の予定表がすぐ見られます。

時間があれば、地図を出したり、観光地のパンフレットを見たりしています。二十年以上前から、観光会社と同じ様な気持で、年末年始の天候を気にしながら、水仙や、桜や、梅の開花を気にしています。今年の春は、桜が一月近く咲いている陽気で、びっくりしました。

ドライブの月の予定で第三日曜日が一番都合がよいのですが、意外と三連休等になり、やむを得ず第二にしたりしますが、桜は、だいたい第一日曜日が満開になるので、折角が悪い様です。今年度のバスハイクも、二月、三月を残すのみになりました。最近三十名集まらないので、バス代がペイしません。ぜひ、皆様のお友達に声をかけて誘って下さい。  
費用も少しでも安く行ける様に頑張りますので宜しくお願いします。 S記

## 「ひまわり通信」86号

2017年11月27日発行

編集 特定非営利活動法人

編集責任者 ヒューマンハーバー世田谷

住 所 隅 一 清

世田谷区野沢3-4-18-102

T E X 03-3487-5081

F A X 03-3422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会

世田谷区砵6-26-21 (定価100円)